

令和6年3月1日

当初予算説明

3月定例会議

常総市



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、様々なイベント、活動の再開や、「道の駅常総」のオープンなど明るい兆しが見えてきた一方で、エネルギー、生活必需品等の物価高騰が続き、一人一人の生活や社会経済活動に深刻な影響を及ぼしております。今後も国・県の動向を注視するとともに、近隣自治体と連携し、また、議員の皆様のご協力をいただきながら地域活性化策を切れ目なく進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

本日、ここに令和6年度予算を提出するに当たりまして、予算編成の基本的な考え方及び重点施策についてご説明申し上げます。

今回、令和6年度予算につきましては、市長に就任後8回目の当初予算編成となります。限られた財源の中で、未来に誇れる常総市をつくるため、じょうそう未来創生プラン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業を重点的に取り組むとともに、新たな国・県の支出金の確保や市税増収につながる施策を実施することで、自主財源の確保をさらに推進していきたいと考え、予算編成を行いました。

まず、現在の常総市の財政状況からご説明申し上げます。

歳入面におきましては、法人市民税は減収の見込みですが、個人市民税にあっては給与所得の増加により、固定資産税にあっては工場や倉庫等の新規立地、設備投資等により、増収の見込みとなっております。

普通交付税につきましては、市税等の増収や物価高騰による需要額の増加などを勘案し、ほぼ横ばいを見込んでおります。

歳出面におきましては、公共施設、インフラの更新整備など従前からの課題に加え、高齢化の進行等による社会保障費の増加など義務的経費が増加傾向にあることから、事業の緊急性や優先度を見極め、時代の変化に柔軟に対応しながら、市の発展をより加速させるための施策を展開してまいります。

主な重点施策としましては、自治会が負担する防犯灯の電気料無料化、ツナグ未来誕生祝福金事業、再生可能エネルギー導入アクションプラン策定事業、農地の内水対策強化推進補助金事業、デジタル観光・周遊マップ運用業務、住まいまちづくり可能性調査事業、防災ガイドブック・洪水ハザードマップ作成業務、水海道小学校トイレ洋式化事業などの予算を盛り込んだところです。

以上が予算編成及び重点施策の概要であります。

次に、令和6年度の予算規模であります。一般会計で2百34億円、6つの

特別会計で百87億9千8百46万1千円となり、合わせますと4百21億9千8百46万1千円になるものです。

以下、会計ごとにご説明申し上げます。

議案第128号 令和6年度常総市一般会計予算についてご説明申し上げます。  
歳入歳出予算の総額は、2百34億円で、前年度当初予算と比較しますと7億1千5百万円、3.0パーセントの減になるものです。

まず、歳入ですが、法人市民税は減収の見込みですが、個人市民税にあつては給与所得が増加傾向にあることなど、固定資産税にあつては工場や倉庫等の新規立地、設備投資等による償却資産の増加などを踏まえ、増収を見込んでおり、市税全体で前年度から1億1千7百41万1千円増の98億1千3百6万3千円を計上しております。

地方交付税につきましては、普通交付税36億円、特別交付税3億5千万円、合わせて39億5千万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、生活保護扶助費負担金、デジタル田園都市国家構想推進交付金、道路や橋りょうの整備に対する防災・安全交付金などがございます。

県支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、マル福医療費補助金などがございます。

市債につきましては、保育所整備事業債9千3百万円、道路新設改良事業債1億3千3百70万円、道路橋りょう維持事業債1億1千40万円、臨時財政対策債9千万円など、総額で6億2百50万円を計上いたしました。

その他の歳入につきましても、関係法令の基準や過去における収入状況などを十分に検証しまして、それぞれ計上いたしました。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

はじめに、人件費につきましては、一般職給477人分を見込んで計上いたしました。

続いて、款別の主なものをご説明申し上げます。

まず、議会費につきましては、議員報酬、政務活動費交付金に係る経費などの計上でございます。

総務費につきましては、自治会負担の電気料の支払いを市負担とする防犯灯無料化事業、公共施設の包括管理業務委託費などを計上いたしました。

民生費につきましては、これまでの出産祝金給付事業を拡充したツナグ未来誕生祝福金事業や第六保育所長寿命化改修事業などを計上いたしました。

衛生費につきましては、カーボンニュートラルに向けた取組として、再生可能エネルギー導入アクションプラン策定事業などを計上いたしました。

農林水産業費につきましては、アグリサイエンスバレー常総における6次産業化に向けた分析調査費、近年多発しております局地的豪雨に対する内水氾濫対策として、「田んぼダム」推進のための農地内水対策強化推進補助金事業などを計上いたしました。

商工費につきましては、道の駅常総の集客効果を地域全体に波及させ、地域経済の活性化を図る取組として、デジタル観光・周遊マップの運用業務事業などを計上いたしました。

土木費につきましては、令和6年度から新たに運行開始となるコミュニティバスの運行経費や新たな住環境の確保に向けた調査を行う、住まいまちづくり可能性調査事業などを計上いたしました。

消防費につきましては、防災ガイドブック・洪水ハザードマップの作成業務、災害発生時の安否確認や災害発生に備えた避難計画の策定等が行えるWebアプリケーション開発費などを計上いたしました。

教育費につきましては、水海道小学校のトイレ洋式化事業や学校給食に地場産物を活用する事業などを計上いたしました。

以上が今回ご提案いたしました令和6年度一般会計の概要であります。

詳細につきましては、委員会におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

まず、議案第129号 令和6年度常総市国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、62億4千7百52万9千円でございます。

歳入につきましては、被保険者13,000人分の国民健康保険税のほか、県支出金、一般会計繰入金などがございます。

歳出につきましては、療養給付費や高額療養費のほか、国民健康保険事業費納付金などを見込み、必要額を計上しております。

次に、議案第130号 令和6年度常総市後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、16億7千2百69万8千円でございます。

歳入につきましては、被保険者10,120人分の保険料のほか、一般会計繰入金などがございます。歳出につきましては、広域連合納付金、特定健診の費用などを計上しております。

次に、議案第131号 令和6年度常総市介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、54億8千5百15万円でございます。

歳入につきましては、第1号被保険者18,697人分の保険料のほか、介護保険法に定められた負担割合に応じ、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び低所得者保険料軽減分を含めた一般会計繰入金などをそれぞれ計上いたしました。

歳出につきましては、人件費のほか、要介護認定者が受ける介護サービス給付などの保険給付費が主なものでございます。

次に、議案第132号 令和6年度常総市介護サービス事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、2千66万4千円でございます。

歳入につきましては、介護予防サービス計画作成報酬が主なもので、歳出につきましては、計画作成の一部を委託するための経費などを計上いたしました。

次に、議案第133号 令和6年度常総市水道事業会計予算についてご説明申

し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、水道料金、新規加入分損金、消火栓負担金など16億7百85万1千円を計上いたしました。

支出につきましては、人件費のほか、受水費、減価償却費などを合わせ15億3千6百93万7千円でございます。

次に、資本的予算であります。収入につきましては、企業債を1億8千30万円を計上しております。

支出につきましては、国道294号立体交差に伴う配水管布設替工事費や県道石下駅中沼線道路改良に伴う配水管布設替工事など5億1千8百56万4千円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億3千7百26万4千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填するものです。

次に、議案第134号 令和6年度常総市下水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、使用料、一般会計補助金など、支出につきましては、人件費のほか、処理場維持管理委託料、減価償却費など14億8千4百66万7千円を計上いたしました。

次に、資本的予算であります。収入につきましては、企業債、一般会計出資金、国庫補助金などを合わせて14億百23万5千円を計上しております。

支出につきましては、豊岡、本石下地区の面整備工事費のほか、内水対策事業である雨水管理総合計画策定業務や浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成業務などを合わせて18億3千2百25万2千円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる4億3千1万7千円につきましては、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金及び減債積立金で補填するものです。

以上が今回ご提案申し上げました特別会計予算の概要であります。

なお、詳細につきましては、委員会におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。